

バジルホール来琉200周年記念の碑が泊緑地（小公園）に建立されました。

平成28年（2016年）12月16日、バジル・ホール記念碑建立期成会（会長山口栄鉄、実行委員長 宮城宏光）により バジル・ホール来琉200周年記念の碑がとまりんビルに隣接する泊緑地（小公園）海側に建立されました。ぜひ足をお運びください。



建立：バジル・ホール記念碑建立期成会 協力：沖縄日英協会 英文協力：A.P. ジェンキンス氏
彫文：豊平峰雲氏 石提供：諸見里安正氏 建設：沖縄関ヶ原石材社 植栽：(株)グリーンウインド社
平成28年12月16日



バジル・ホール
〔朝鮮・琉球航海記、(1986年)より〕

碑文

バジル・ホール (Basil Hall 1788-1844) は、母国イギリスの使節団を中国へ送り届ける任務の傍ら、英軍艦ライラ号の艦長として、旗艦アルセスト号とともに 1816年9月に来琉。40余日間停泊し、琉球の人たちとの交流をもった。

その様子を 1818年『朝鮮・琉球航海記』として出版。礼節を重んじる国として讃え、欧米に広く琉球を知らしめた。

また、セントヘレナ島に幽閉中のナポレオン一世との会見の中で、琉球を「武器のない国」と紹介した話はあまりにも有名である。

わたしたちは、彼らの深い友情と、わたしたちに誇りを与えてくれたことに感謝をこめて、上陸地ここ泊に記念碑を建立する。

バジル・ホール記念碑建立期成会



NAPAKIANG.
Painted about 1810, by John Thomson, 40, Abchurch Lane, London.